学校番号	1204

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新現代社会」　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

21 世紀に入り、私たちが生きる現代社会は価値観が多様化・複雑化し、正解がひとつでない課題も数多く存在している。そのような現代社会において、様々な課題を多面的・多角的に考えられる力が重要となってくる。そこで現代社会の授業では、まず基本的な用語の理解に重点を置き、ニュースや新聞の内容がわかることをひとつの目標とする。その上で他者との関わりの中から、自分なりの答えを見つけ、そしてその考えをわかりやすく人に伝えられることを目指し学習を進めていく。

２　学習の到達目標

・私たちが生きる現代社会のしくみを、地理・歴史分野とも絡めて理解し、ニュースや新聞の内容がわかるようになる。

・現代社会の諸課題について、他者との関わりの中で、自分なりの答えを見つけ、それを人に伝えることができる。

・現代社会のしくみや諸課題について、「なぜそうなったのか」という原因や背景を考え、批判的に考察できる力を身につけることができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	私たちが生きる現代社会に関心を持ち、様々な課題について意欲的に追求し、良識ある公民として社会に参画する姿勢を身につけることができる。	現代社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、その考えを文章や発表の形で表現することができる。	現代社会の諸課題についての情報を教科書・資料集や、テレビ・インターネット・新聞などから入手し、正しく読み取ることができる。	現代社会の諸課題について理解するための基本的な知識を身につけることができる。
評価方法	・授業観察 ・ワークシートの記述 ・課題の提出	・定期考査 ・ワークシートの記述 ・授業中の発表	・定期考査 ・課題プリント	・定期考査 ・小テスト ・課題プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	私たちの生きる社会	・環境と私たちの生活 ・資源・エネルギー問題と私たちの生活 ・科学技術の発達と私たちの生活 ・高度情報社会と私たちの生活	○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:私たちが生きる現代社会がどのようなものであるか関心を持ち，意欲的に授業に参加することができる。 b:限られた資源，科学技術と生命倫理，高度情報通信技術で起こる問題など，多様で複雑化している現代社会をどのように生きることが望ましいかを考察できる。 c:環境問題や資源エネルギー問題,生命倫理,ICT の問題について，インターネットなどを使用して調べることができる。 d:環境問題，資源エネルギー問題，生命倫理,ICT に関する基本的な知識を理解することが出来る。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査
1	現代社会と人間としてのあり方 生き片	・青年期と自己の形成 青年期とは 青年期を充実させるために 伝統や文化とのかかわり 祭りと年中行事 社会とのかかわり 私たちの生きがい	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○	a:高校生にとって関わりの大きい青年期の意義などについて関心を持ち，意欲的に授業に参加できる。 b:青年期という時代をどのように過ごすことが望ましいか考えることができる。 c:職業のもつ意味や社会に参加することの意義についてインターネットを使用して調べることが出来る。 d:青年期に関する基本的な知識を理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

1	現代社会と人間としてのあり方 生き方	・個人の尊重と法の支配 法の支配 基本的人権の保障 世界の政治体制	 ○ 	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a:私たちが生きる現代社会ではどのような政治が行われているのか、また基本的人権はどのような経緯で保障されたのかについて興味を持ち、意欲的に授業に参加できる。 b:望ましい民主政治とはどのようなものであるかを考えることができる。 c:基本的人権が保障されるようになった経緯についてインターネットや書籍を活用して調べることができる。 d:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて、また基本的人権の保障されるに至った経緯，また世界の政治制度について理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査
2	現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障と安全保障 ・冷戦終結後の防衛問題 ・平等に生きる権利 ・自由に生きる権利 ・豊かに生きる権利 ・新しい人権 ・基本的人権と公共の福祉 ・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・地方自治と住民の福祉 ・選挙制度の現状と課題 ・世論の形成と政治参加	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:日本国憲法の内容や日本の民主政治のしくみについて興味を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 b:今の日本の民主政治のしくみについて理解した上でどのような民主政治が望ましいのかを考える。 c:今の日本の民主政治の課題についてインターネットや書籍を活用して調べることができる。 d:日本国憲法の内容や現代の日本の民主政治のしくみについて理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査
2	国際政治の動向と日本の役割	・国家主権と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・第二次世界大戦後の国際社会 ・冷戦終結後の国際社会 ・核兵器の廃絶と国際平和 ・地域紛争と人種・民族問題 ・国境と領土問題	○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:国際社会のしくみについて興味を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 b:いまの国際社会に存在している多くの課題を知り、それらの課題を解決するために自分はなにができるのかを考える。 c:現代の国際社会の課題についてインターネットや書籍を活用して調べることが出来る。 d:現代の国際社会の仕組みや国際連合について、また核兵器に関する問題についてを理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

3	現代の経済社会と私たちの生活	・経済と私たちの生活 ・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ ・国民所得と私たちの生活 ・景気変動と物価の動き ・財政のしくみと税金 ・日本の財政の課題 ・金融機関のはたらき ・戦後日本経済のあゆみ（1） ・戦後日本経済のあゆみ（2） ・技術革新の進展と産業構造の変化 ・中小企業の現状と役割 ・食の安全とこれからの日本の農業 ・雇用と労働問題 ・労働環境の整備 ・公害の防止から環境保全へ ・消費者問題と消費者主義 ・社会保障と福祉社会 ・これからの福祉社会	○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代社会の経済のしくみについて関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことが出来る。 b:現代の経済社会の課題について考えることができる。 c:第二次世界大戦後の日本経済の流れや、いまの日本にはどのような労働問題があるかなどについて、インターネットや書籍を活用して調べることが出来る。 d:現代社会の経済のしくみや課題について理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査
3	国際経済の動向と日本の役割	・国際分業と貿易 ・国際経済体制のあゆみ ・国際収支と為替相場 ・国際経済の動向 ・進む地域経済統合 ・発展途上国の経済と南北問題 ・国際社会のこれから	○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の国際経済のしくみや課題について興味を持ち、意欲的に授業に参加することができる。 b:経済がグローバル化していることのメリット、デメリットについて、また私たちは国際経済をよくするために私たちにできることは何かを考える。 c:現代の国際経済にある課題はどのようなものであるかをインターネットや書籍を活用して調べることが出来る。 d:国際経済のしくみや貿易することの意義、また経済統合などについて理解する	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解